## 【公開前】20231122\_証明書のインポート手順 Microsoft Internet Explorer, Edge編・Google Chrome 編

作成者 Takuma Yamamoto、最終変更日2023/11/22

改版履歴						
版数	日付	内容	担当			
V.1.0	2020/9/14	初版	NII			
V.1.1	2021/10/12	対象ブラウザにMicrosoft Internet Explorerを追加	NII			

## Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポート手順

ここではMicrosoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポート手順について記述します。

Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの手順										
1. ダウンロードフォルダにある証明書のp12ファイルをダブルクリックもしくは右クリックから[開く]を選択してください。										
<ul> <li></li></ul>		✓ 0 ダウンロードの検索	Q							
🤼 ダウンロード 🔤 🛆 名前	更新日時	種類	サイズ ^							
LientCert.p12	2020/07/30 19:46	Personal Information Exchange	5 KB							
			=							
🐌 ミュージック										
			~							
2. 証明書のインポートウィザードが開始されます。保存場所に「現在のユーザー(C)」を選択し、[次へ]を	選択してください。									
× ×										
◎ ● 証明書のインポート ウィザード										
	1									
証明書のインホート ワイサートの開始										
このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピー										
U\$9.										
証明機關によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、デーダを保護したり、またはセキュリティで保										
護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステムトの領域です。										
NTT OBOUT 21										
- 保存場所										
● 現在のユーザー(C)										
○ □-カル コンピュータ-(L)										
続行するには、「次へ」をクリックしてください。										
次へ(N) キャンセル										
3. ファイル名にインボートする証明書のp12ファイルが選択されていることを確認し、[次へ]を選択してください。										
(インボートする証明書のp12ファイルか選択されていない場合は[参照]をクリックして、インボートする証明書のp12ファイルを選択してください)										

) <i>9</i>	★ 証明書のインボート ウィザード
4	(ン <b>ボートする証明書ファイル</b> インボートするファイルを指定して伏さい。
	ファイル名(F): C:¥Users¥Downloads¥ClientCert.p12 注意:次の形式を使うと1つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,.P12) Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B) Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)
- のキー	<u>次へ(N)</u> キャンセル をエクスポート可能にする(M)キーのバックアップやトランスポートを可能にします。」と「全ての拡張ブロファイルを含める(A)」にチェ
i書をダ ● <i>●</i>	ウンロードする際に使用したアクセスPINをパスワード欄に入力し、[次へ]を選択してください。
秘	が高キーの保護 セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。
	総密キーのパスワードを入力して伏さい。 パズワード(P): □ パズワードの表示(D)
	インボート オプション(1):
	次へ(N) キャンセル
E明書の	種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)」にチェックを入れ、[次へ]をクリックしてください。 ×
(小) (正明	
	ーロッサラストプは、ロッサラルドモビィレンクスレムレの時々です。 Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。
	<ul> <li>● 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)</li> <li>○ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)</li> <li>証明書ストア:</li> <li>参照(ℝ)</li> </ul>

6. [完了]を選択してください。		1		
←   参 証明書のインポート ウィザード	×			
証明書のインポートウィザードの完了				
[完了]をクリックすると、証明書がインポートされます。				
次の設定が指定されました: [選択された証明書ストア ウイザードで自動的に決定されます 内容 PFX ファイル名 C:¥Users¥Downloads¥ClientCert.p12				
٢	>			
完了(F	) キャンセル			
<ol> <li>ルート証明書がインストールされていない場合、セキュリティ警告画面がポップフ い]をクリックしてポップアップを閉じてください。</li> <li>セキュリティ書き</li> <li>発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしようとし</li> </ol>	アップします。「拇印	](sha1)」が「 <mark>D5629710 C</mark>	17BD663 91E8FC27 919CE1	1 DAB47AF8] であることを確認し、[は
くいます: SECOM Passport for Member RSA CA16				
証明書が実際に "SECOM Passport for Member RSA CA16" からのものである かどうかを検証できません。"SECOM Passport for Member RSA CA16" に連絡 して発行者を確認する必要があります。次の番号はこの過程で役立ちます:				
揖印 (sha1): D5629710 C17BD663 91E8FC27 919CE141 DAB47AF8				
警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は自動 的に信頼されます。確認されていない拇印付きの証明書をインストールすることは、 セキュリティ上、危険です。[はい]をクリックすると、この危険を認識したことになりま す				
この証明書をインストールしますか?				
はい(Y) いいえ(N)				
8. 「正しくインボートされました。」とポップアップが表示されるとインボートは完 証明書のインボート ウィザード ×	記了です。[OK]をクリ	ックしてポップアップを閉じ	てください。	
以上で、 Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインボー 「証明書の存在確認手順 Internet Explorer編」、「証明書の存在確認手順 Microsof 「証明書の存在確認手順 Google Chrome編」を実施し、証明書がインボートされて	- トは完了しました。 ft Edge編」もしくは ていることを確認して	こください。		

ラベルがありません